

広島県の地震

2024（令和6）年 8月

目 次

広島県及びその周辺の地震活動…………… 1

震央分布図・断面図と地震概況

広島県における震度1以上の地震…………… 2

震度一覧表と震度分布図

地震メモ 第238回…………… 5

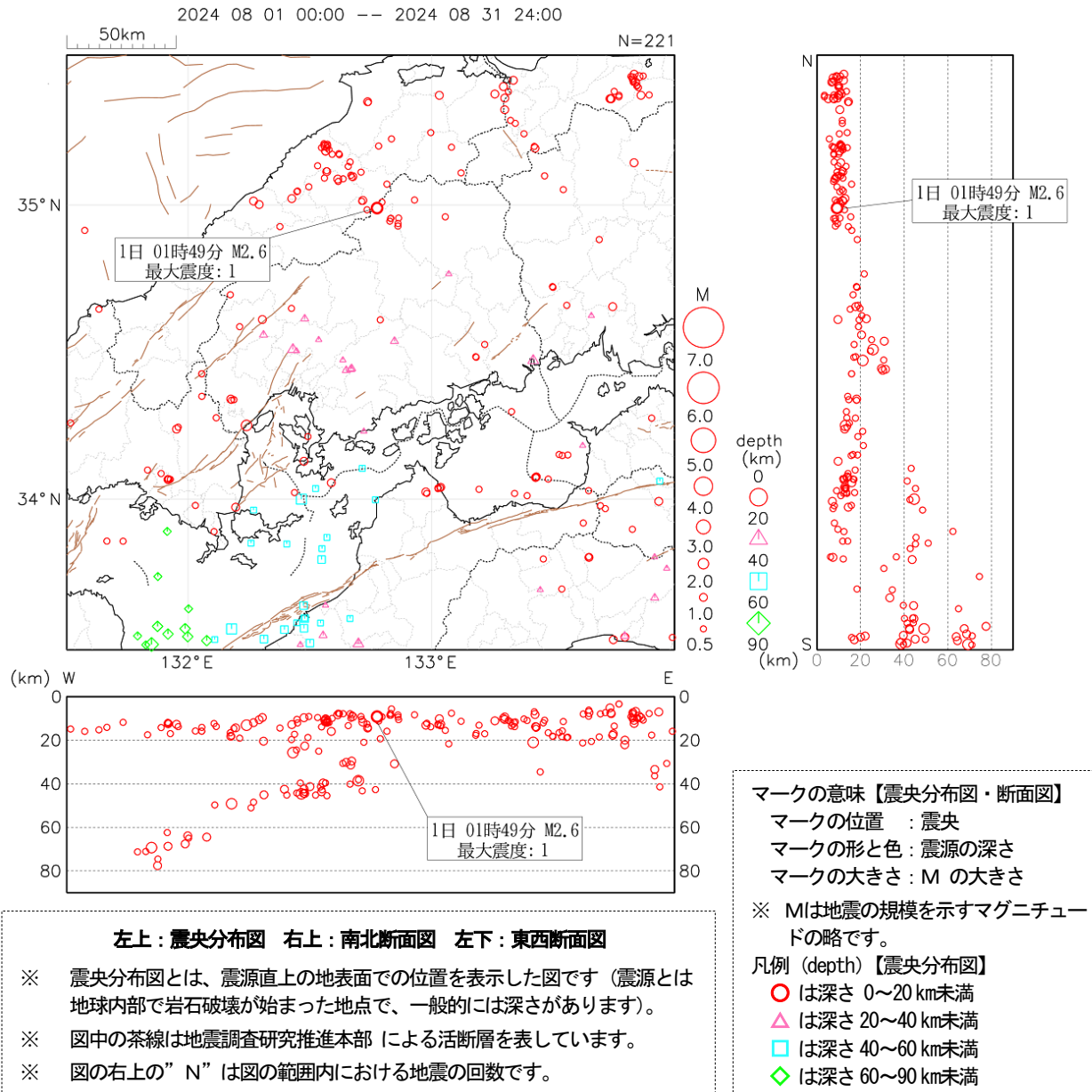
日頃からの地震への備え ～建物の耐震化を進めよう～

広島地方気象台

広島県及びその周辺の地震活動

【震央分布図・断面図】

2024 年 8 月 1 日～8 月 31 日



【地震概況】

この期間、広島県内で震度1以上を観測した地震は3回でした（先月は2回）。

1日01時49分 島根県東部の地震（深さ9km、M2.6）により、島根県飯南町、広島県庄原市で震度1を観測しました。

8日16時42分 日向灘の地震（深さ31km、M7.1、上図の範囲外）により、宮崎県日南市で震度6弱を観測したほか、東海・近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度5強～1を観測しました。

9日04時23分 日向灘の地震（深さ26km、M5.4、上図の範囲外）により、宮崎県高鍋町・新富町・川南町・宮崎市・日南市・串間市・国富町・都城市・三股町で震度3を観測したほか、近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度2～1を観測しました。

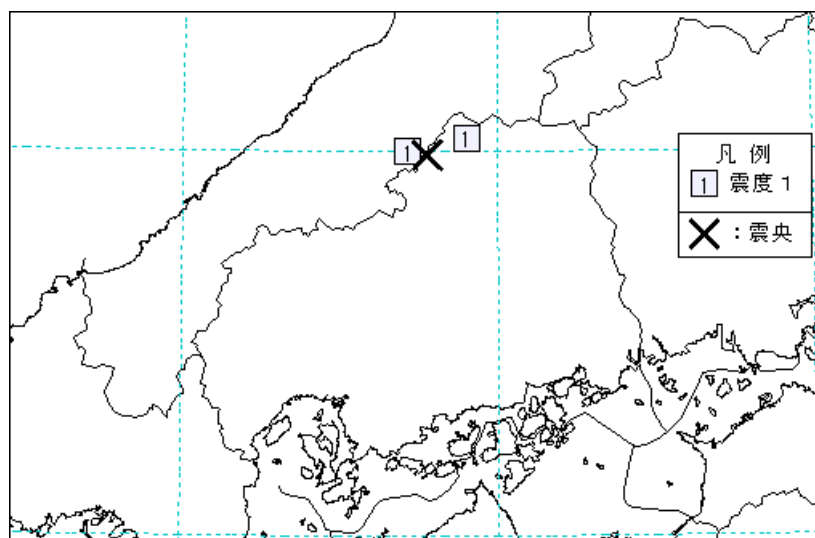
広島県における震度 1 以上の地震

【震度一覧表】

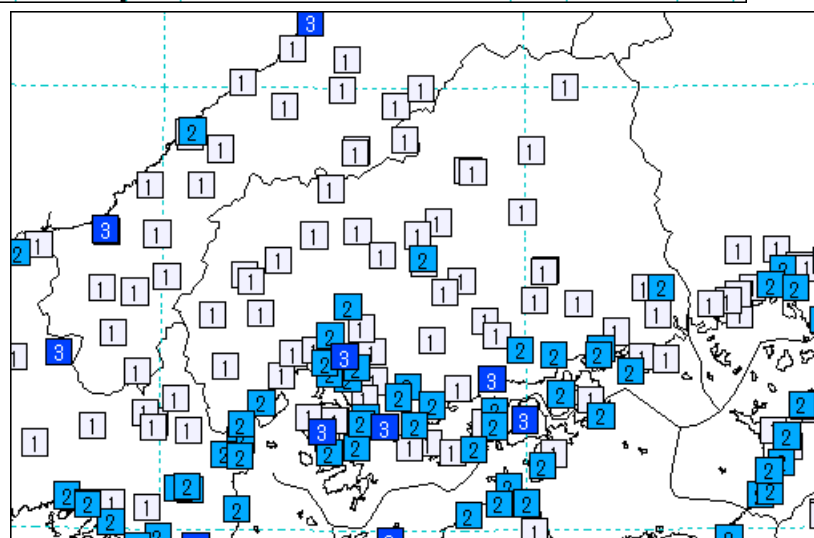
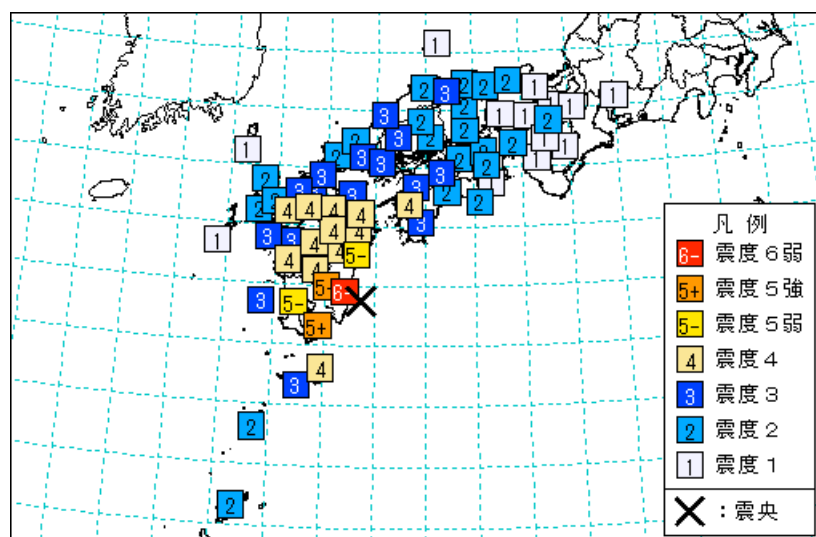
発震時刻（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	M マグニチュード
広島県内の各地の震度					
2024年08月01日01時49分	島根県東部	34° 59.3' N	132° 46.5' E	9km	M2.6
——— 地点震度 ———					
広島県 震度 1：庄原市高野町＊					
2024年08月08日16時42分	日向灘	31° 44.2' N	131° 43.3' E	31km	M7.1
——— 地点震度 ———					
広島県 震度 3：呉市広＊, 府中町大通り＊, 江田島市能美町＊, 竹原市中央＊					
震度 2：安芸高田市向原町＊, 三原市円一町, 三原市本郷南＊, 尾道市向島町＊					
尾道市瀬戸田町＊, 尾道市久保＊, 福山市神辺町＊, 福山市内海町＊, 広島中区羽衣町＊					
広島南区宇品海岸＊, 広島安佐南区祇園＊, 広島安佐北区可部南＊, 呉市宝町					
呉市二河町＊, 呉市郷原町＊, 呉市川尻町＊, 呉市音戸町＊, 呉市安浦町＊, 呉市豊町＊					
大竹市小方＊, 東広島市黒瀬町, 廿日市市大野＊, 海田町役場＊, 坂町役場＊					
江田島市大柿町＊, 大崎上島町木江＊, 大崎上島町東野＊					
震度 1：広島三次市十日市中, 広島三次市三次町＊, 広島三次市吉舎町＊, 庄原市西城町熊野					
庄原市中本町＊, 安芸高田市向原町長田＊, 安芸高田市八千代町＊					
安芸高田市吉田町＊, 安芸高田市甲田町＊, 安芸太田町加計＊, 安芸太田町中筒賀＊					
安芸太田町戸河内＊, 北広島町都志見, 北広島町有田, 北広島町大朝＊, 広島空港					
三原市久井町＊, 尾道市因島土生町＊, 尾道市御調町＊, 福山市松永町, 福山市東桜町＊					
福山市駅家町＊, 福山市鞆町＊, 福山市沼隈町＊, 世羅町東神崎＊, 世羅町西上原＊					
広島東区福田＊, 広島西区己斐＊, 広島安芸区中野＊, 広島佐伯区利松＊					
広島佐伯区湯来町和田＊, 呉市下蒲刈町＊, 呉市豊浜町＊, 呉市焼山＊, 呉市蒲刈町＊					
東広島市西条栄町＊, 東広島市福富町＊, 東広島市豊栄町＊, 東広島市河内町＊					
東広島市安芸津町＊, 廿日市市下平良＊, 廿日市市津田＊, 廿日市市吉和＊					
熊野町役場＊, 江田島市江田島町＊, 江田島市沖美町＊, 大崎上島町中野＊					
2024年08月09日04時23分	日向灘	31° 48.7' N	131° 38.9' E	26km	M5.4
——— 地点震度 ———					
広島県 震度 1：呉市宝町, 呉市広＊, 呉市安浦町＊, 府中町大通り＊, 江田島市能美町＊, 竹原市中央＊					

注) 震度の地名に＊印を付したものは、広島県または防災科学技術研究所の震度観測点によるものです。

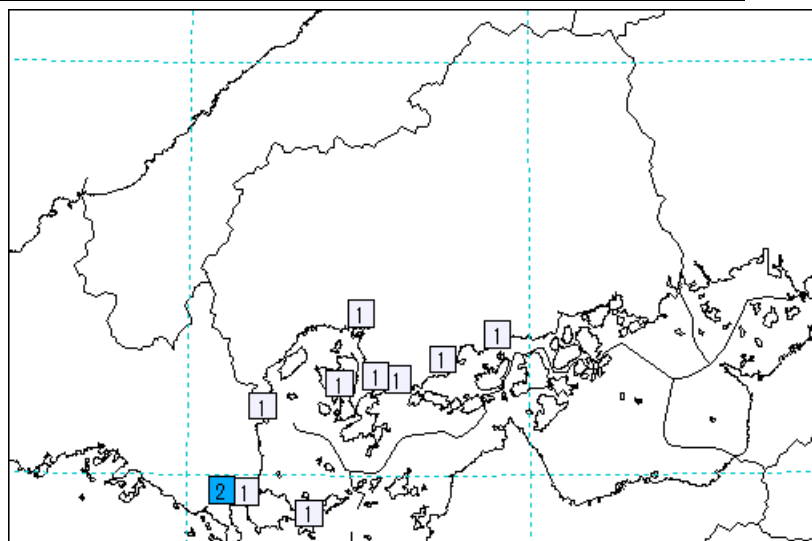
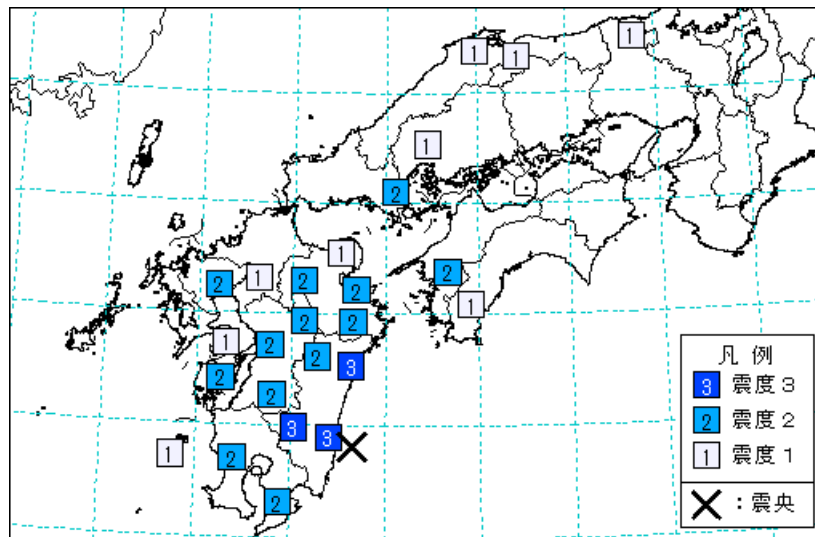
【震度分布図】



2024年8月1日01時49分 島根県東部の地震の観測点震度分布図



2024年8月8日16時42分 日向灘の地震の地域震度分布図 (上) , 広島県周辺の観測点震度分布図 (下)



2024年8月9日04時23分 日向灘の地震の地域震度分布図（上），広島県周辺の観測点震度分布図（下）

～ 建物の耐震化を進めよう ～

日本は世界有数の地震大国で、これまで多くの地震や津波による災害を経験してきました。今年1月1日に石川県能登地方でマグニチュード7.6の地震が発生し、石川県輪島市と志賀町で最大震度7を観測したほか、能登地方の広い範囲で震度6弱以上の揺れを観測しました。激しい揺れによる住家被害が顕著で、全壊は6,273棟、半壊が20,892棟[※]にのぼり、倒壊した家屋の下敷きになるなどして多くの人命も奪われました。

8月8日には日向灘で地震が発生し、宮崎県日南市で最大震度6弱の揺れを観測しました。気象庁は「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を発表するとともに、政府からは地震への備えを再確認するよう、特別な注意の呼びかけが1週間行われました。

我々は頻発する地震にどのように向き合えばよいのでしょうか。残念ながら現在の科学では地震を予知（いつ、どこで、地震の規模）できないのが現実です。平時のうちに地震に備えておくことが大切な命、財産を守る最善の手段と言えます。（※ 令和6年8月21日消防庁調べ）

◆ 住宅・建築物の耐震化について

大地震から自らの生命・財産等を守るためには、住宅等の耐震化について、所有者一人ひとりが自らの問題として意識して取り組むことが重要です。



1981年以前の建物は、建築基準法に定める耐震基準が強化される前の「旧耐震基準」により、震度5強程度の地震に対して建物が倒壊・崩壊しないように建築され、耐震性が不十分なものが多く存在します。1981年以降は「新耐震基準」に改正され、震度6強～7程度の大規模地震で倒壊しない、そして1995年の阪神淡路大震災を受けて「2000年基準」ではさらに基準が強化され、これが現行の基準となっています。

まずは、耐震診断を実施し、自らの建物の耐震性を把握しましょう。そして、耐震診断の結果、耐震性が不十分であった場合は、耐震改修や建替えを検討しましょう。耐震診断や耐震改修には費用がかかりますが、国と地方公共団体では、協力して様々な支援制度を講じています。耐震改修等にあたっては、是非支援制度をご活用ください（悪質なリフォーム工事詐欺に合わないよう地方公共団体の窓口にご相談するなどし、十分にお気をつけください）。

○ 広島県ホームページ「住宅・建築物の耐震化に関する情報を発信する総合窓口」

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/taishin-madoguchi/>

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

なお、本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。

広島県の地震に関する問い合わせ先

〒730 - 0012

広島市中区上八丁堀 6 - 30 広島合同庁舎 4 号館 14 階

広島地方気象台 防災管理官室 TEL : 082 - 223 - 3965